

第20回 苫小牧市公共交通協議会兼第3回計画検討分科会【要旨】

日 時：令和2年1月21日（火）

場 所：苫小牧市役所 南庁舎9階 議会会議室

出席者：下夕村委員（会長）、木村委員（副会長）、木村委員（道南バス株式会社）、荒井委員（北海道中央バス株式会社）、吉田委員（あつまバス株式会社）、金山委員（JR北海道）、酒井委員（ハイヤー協会：米子委員代理）、野坂委員（室蘭運輸支局）、福原委員（室蘭開発建設部：阿部委員代理）、村上委員（北海道：塩田委員代理）、清野委員（苫小牧市）、佐瀬委員（苫小牧南高等学校）、遠藤委員（商工会議所）、橋根委員（公募）、森委員（公募）

《報告事項》

報告第1号：ユニバーサルデザインタクシー導入支援事業について

- ・令和元年度におけるUDタクシーの導入状況（4社4台）について説明

《協議事項》

議案第1号：地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）の事業評価（案）について

- ・令和元年度に運行した樽前予約運行型バスの事業評価案について説明
- ・補助対象事業者は道南バス株
- ・事業概要は、樽前地域住民や樽前小学校の通学利用を目的として運行
- ・目標の達成状況は、満足度は達成したものの、利用者は減少傾向にあり達成できず
- ・今後の改善点は、引き続き樽前小学校に通学する児童への市内路線バス定期半額補助を継続するとともに、アンケートの結果や町内会、学校等との協議を踏まえ、利用者の利便性向上に努めつつ、利用者数の増加を図る

→委員から、過去に質問した目標の達成状況についての質問があり、事業期間のずれがあることから、次回以降に実現可能な目標値となる旨を説明

⇒原案どおり承認

議案第2号：令和2年度 樽前予約運行型バス運行計画（案）について

- ・令和元年度と同様の路線及びダイヤで運行する旨を説明

⇒原案どおり承認

議案第3号：地域公共交通確保維持改善事業（計画策定に係る事業）の事業評価（案）について

- ・地域公共交通網形成計画策定に係る事業評価について説明
- ・事業の結果概要及び適切性については、計画通り進めている
- ・今後の方針としては、今年度の基礎的調査結果、課題を踏まえ、効率的、効果的な公共交通網を形成することによる収支改善、輸送密度の向上を目指すとともに、ICT、情報通信技術を活用した各種システムの構築を進め、利便性向上策による利用者増につなげていきたい
- ・国で、法改正の動きがある旨を説明

→委員から、次年度の計画策定の方針についての質問があり、重複路線の見直しや、ICTを活用した新しい移動の概念であるMaaSについての検討を進める旨を説明

⇒原案どおり承認

《議事事項》

議事 1：地域公共交通網形成計画策定に関する公共交通アンケート調査について（中間報告）

- ・アンケート調査の中間報告
- ・回収は1,091票（内WEBアンケートで約800票）
- ・結果は地域の人口分布や年齢構成と相似している
- ・公共交通の満足と不満の割合がほぼ同じ
- ・路線バスの利用頻度は、週1～2回以上利用している方の割合が約12%
- ・一方、自家用車で移動ができなくなった場合に路線バスを利用すると回答した割合が約80%
- ・路線バスの維持、向上を求める回答が約75%
- ・実際の利用状況は少ないものの、潜在的な需要があると考えられる。
- ・今後、これらを地域別、年齢別等の区分でクロス集計して、将来需要予測等を推計

→委員から、約1,000通のアンケートの信頼度を質問され、統計上問題ない旨を説明

以上